

MY FIELD とは ...

原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。
原村で暮らす、おもしろくて素敵なひとを紹介します。



Instagram やってます♪

https://www.instagram.com/haramura_nagano/



「MIC HOUSE」
宮坂 美久さん(36)

ゲストハウス「MIC HOUSE」

BAR 利用 & 宿泊 1泊 2500円。

※個室利用の場合は 3500円。

TEL:090-2414-8672

facebook

<https://www.facebook.com/mac.mic.muc/>

村人を繋ぐ場所でありたい

内装やインテリアが好きで、素材そのものにも興味があった美久さん。高校卒業後に上京し、特殊造形の学校に2年間通った。内定が決まっていた会社に行かないことを決め、資金を蓄えジュエリーの学校へ通い、関連会社へ就職。1年が経ったところに独立を考え、ライバルが少ない地元では需要があると見込み、23歳の時に原村へ戻り実家に工房を構えた。

昨年35歳のときに実家を出ると決意をし、ゲストハウス兼BARである「MIC HOUSE」をオープンする運びとなった。

「こんなに広い物件を買うつもりは全然なかったの。でもせっかくスペースがあるからBARやっちゃおう！ってなって。私お酒が大好きだから！」と笑顔で語る美久さん。実は店を開店するにあたり、込めた想いがあった。

「農村に住む人とペンションに住む人ってギャップがあって。でも、

長野県松本市生まれ。父親の生まれ故郷である原村へ小学校にあがる時に引越。高校卒業後、上京し興味のあった特殊造形の道へ。ジュエリー制作をするため23歳の時に原村へ戻る。現在はゲストハウス兼BAR「MIC HOUSE」を経営。

お互いを知らないだけなんだよ。」と話してくれ、そんなギャップを埋めるべく自らペンションへ引越し、互いが知り合える場の提供を考えただ。「互いを知り合って仲良くなつて、農村の人がペンションなんてどうでもいいと言わないように、またその逆もないように。同じ方向を向いて協力し合えたらすごくいいよね。だってみんな原村が好きなのは同じだから。」と、とても大切な想いを語ってくれた。

これからやりたいことを訊くと、「今まで周りにワガママを聞いてもらって生きてきたから、これからは頼られる存在になりたいなあと思っで。」との事。せっかく広いペンションを手に入れたから、場所を提供して夢追い人を応援したい、ここは面白い人が集まる場所になったらいいなと、今後の想いを語ってくれた。

*
可愛い姿で豪快に、カラッと明るく何事も笑い飛ばす美久さん。そんな前向きで楽しそうな姿に集まった皆がいつも元気をもらうのだ。



NEXT

次回のMY FIELD No.8は
農園縁側の池淵崇さんをご紹介します！
次回をお楽しみに！◎

